

# The 健康応援隊!.....♡

## 風しんに注意しましょい

今年風しんが流行しています。

国立感染症研究所が発表した患者数は9月26日現在、770人となり、過去5年間で最多になりました。

前回12〜13年にかけて、約1万7,000人の患者が出る大流行がありました。今回はそれに匹敵する規模へ拡大することが心配されます。

報告されている患者のうち、8割を超える638人が男性で、特に、30代〜40代の男性が多くなっています。県内でも、35名の報告があり、そのうち33名が30代の男性です。30代後半〜50代の男性は、風しんの予防接種を受けていない又は1回しか受けていません。そのため、り患する人が多くなっています。

風しんは、感染している人の咳などで感染します。2〜3週間の潜伏期間の後、発疹や発熱、首などのリンパ節の腫れが出ます。感染しても3割程度の人は症状が生まれませんが、感染力は持っています。

予防は、ワクチンの接種が有効です。乳幼児期は、1歳になった日から1年の間に1回と小学校就学前の1年の間に1回が、定期接種となっ

ています。

風しんは、妊婦への影響が大きい病気です。妊娠20週までに感染すると、胎児に感染し、先天性風しん症候群と呼ばれる先天性の難聴や白内障、心疾患を持って生まれる可能性がります。前回の大流行のときには45人が同症候群になりました。

妊娠すると、初期の健診で風しんの抗体を持っているか調べます。

ただし、風しんワクチンは生ワクチンのため、妊婦は接種できませんので、妊娠を希望する女性で過去の予防接種歴が分からない場合、ワクチンの接種をお勧めします。

また、男性からうつしてしまう可能性もあるため、妊娠を希望する女性がいる家庭では、ワクチンの接種をお勧めします。

(健康福祉課 保健師)



## 学校コーナー



五霞西小学校

### 秋季大運動会

9月29日、五霞町長染谷森雄様をはじめ、多数の来賓の方々、保護者、地域の方々をお招きして、秋季大運動会が盛大に行われました。



天候が心配されましたが、「頑張れば負けてもみんな金メダル」のスローガンのもと、紅組、白組とも全力を尽くして頑張る姿をご覧いただきました。また、そうした子供たちの姿に、皆様から温かい声援をいただきました。運動会開催にあたり、来賓及び地域の方々、保護者の皆様には、多大なご支援、ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。



### 地域の名人の指導で米作り学習

5年生の社会科及び総合的な学習の時間として、米作り学習に取り組んできました。

日頃からお世話になっている地域の名人、鈴木昇さんの指導の下、代掻きや田植え体験をはじめ、水の管理もしながら大切に育ててきました。

9月11日(火)、収穫の秋を迎え、全員で稲刈り体験をしました。また、鈴木さんのお宅で脱穀から精米までの作業を見学しました。

鈴木さんからは「この学習を通して米作りの大変さを知ってもらい、食べ物がありがたさを実感してほしい。」とお話がありました。収穫したお米は、西小まつりで食したいと思います。

